

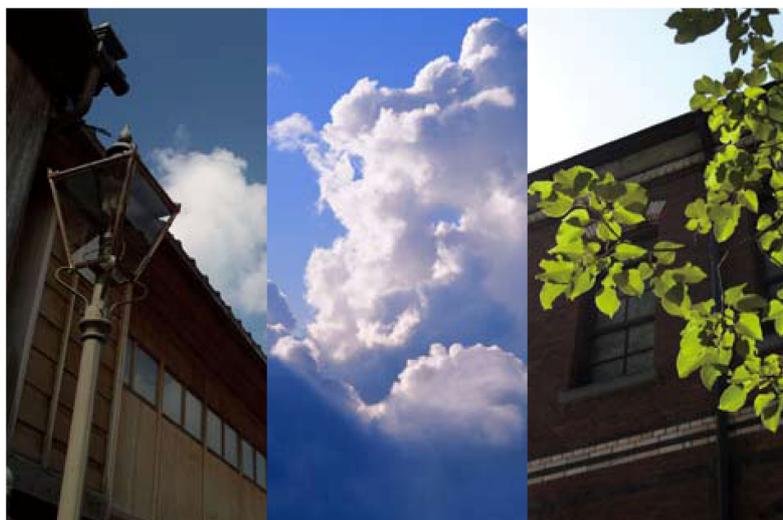


E²O

ISHIKAWA

SIGN

いしかわエコサインガイドライン



目 次

1. 「いしかわエコサイン」とは	1
■ ガイドラインの趣旨	1
■ いしかわエコサインの定義	1
■ いしかわエコサインの5つの類型	2
2. エコサインの企画	8
■ エコサインの企画	8
■ トータルデザインへの配慮	10
■ エコサイン10指標	12
□ 環境指標	12
□ 景観指標	22
3. エコサインの認定	38
■ エコサインの認定を受けるには	38
■ 導入にかかる規制緩和など	40
4. 様式等	41
■ 認定申請書	41
■ 認定チェックリスト	44
■ 屋外広告物担当窓口	45

1. 「いしかわエコサイン」とは

ガイドラインの趣旨

屋外広告物は、広告手段の1つとして商品やサービス、情報等を伝える媒体であると同時に、景観を構成する重要な要素であり、情報の発信者と受け手の双方にとって魅力あるものとするのが望まれます。

特に地域景観に与える影響は大きく、屋外広告物が無秩序に氾濫すると街の景観を損ねてしまい、また、自然景観を台無しにしてしまいます。

しかしながら、中にはデザインに優れており地域景観の形成に寄与しているものや環境に配慮し地域景観にとけ込んでいるものも少なからず存在します。

このため県では、いしかわ景観総合条例において屋外広告物の規制誘導を行うのと同時に、景観・環境に配慮した屋外広告物を積極的に推奨し、魅力ある地域景観の創出を進めています。

本ガイドラインは、屋外広告物の掲出を検討される広告主や屋外広告業者の方はもとより、広く県民の方々にも「いしかわエコサイン」についてご理解いただくことを目的とし、考え方や指標などをわかりやすく解説したものです。

いしかわエコサインの定義

いしかわ景観総合条例では、景観・環境に配慮した屋外広告物で景観形成に寄与すると認められるものを、「優良広告物」として認定することを規定しています。

県では、この規定に基づき認定される優良広告物を、「いしかわエコサイン」（以下「エコサイン」）と定義し、許可基準の緩和等により積極的な掲出を推奨します。

いしかわ景観総合条例（抜粋）

第五章 広告物の規制等

（優良広告物の認定等）

第五十六条 知事は、景観又は環境に配慮した広告物であつて景観形成に寄与すると認められるものを、当該広告物を表示し、又はその掲出物件を設置しようとする者の申請に基づき、別に定めるところにより、優良広告物として認定することができる。

- 2 知事は、第五十八条（許可の基準）及び第五十九条（許可の期間及び条件）の規定にかかわらず、優良広告物に係る許可の基準、期間及び条件を別に定めることができる。

「いしかわエコサイン」の5つの類型

エコサインは、大きく『地域景観への配慮』『良質なデザイン』『自然素材の活用』『看板の集合化』『リサイクルへの配慮』の5つの類型に分けられます。これらの類型に基づいたエコサインの企画を行いましょう。

【「いしかわエコサイン」の5つの類型】

- ① 地域景観への配慮 ● 地域を特徴づけるデザインや素材などを用い、景観形成に資するもの



- ② 良質なデザイン ● 良質かつ普遍的なデザインにより、地域の活性化、景観形成に資するもの



- ③ 自然素材の活用 ● 自然素材の特色を活かし、景観及び環境への配慮が見られるもの



- ④ 看板の集合化 ● 集合化により省資源化に効果を有し、環境への配慮が見られるもの



- ⑤ リサイクルへの配慮 ● 再資源化や省資源化に効果を有し、環境への配慮が見られるもの



これらの要素が取り入れられた屋外広告物のうち、優れた屋外広告物を優良広告物(エコサイン)として認定します。

①地域景観への配慮

地域景観の特性を無視して掲出された広告物の氾濫は、地域景観の阻害要因となっているだけでなく、過剰な広告が悪い印象を与え、広告効果が弱まることも考えられます。

地域を特徴づけるデザインや素材などを用い、景観に配慮することにより、地域イメージの向上だけでなく、広告主のイメージ向上にもつながります。

【建物と調和した事例】



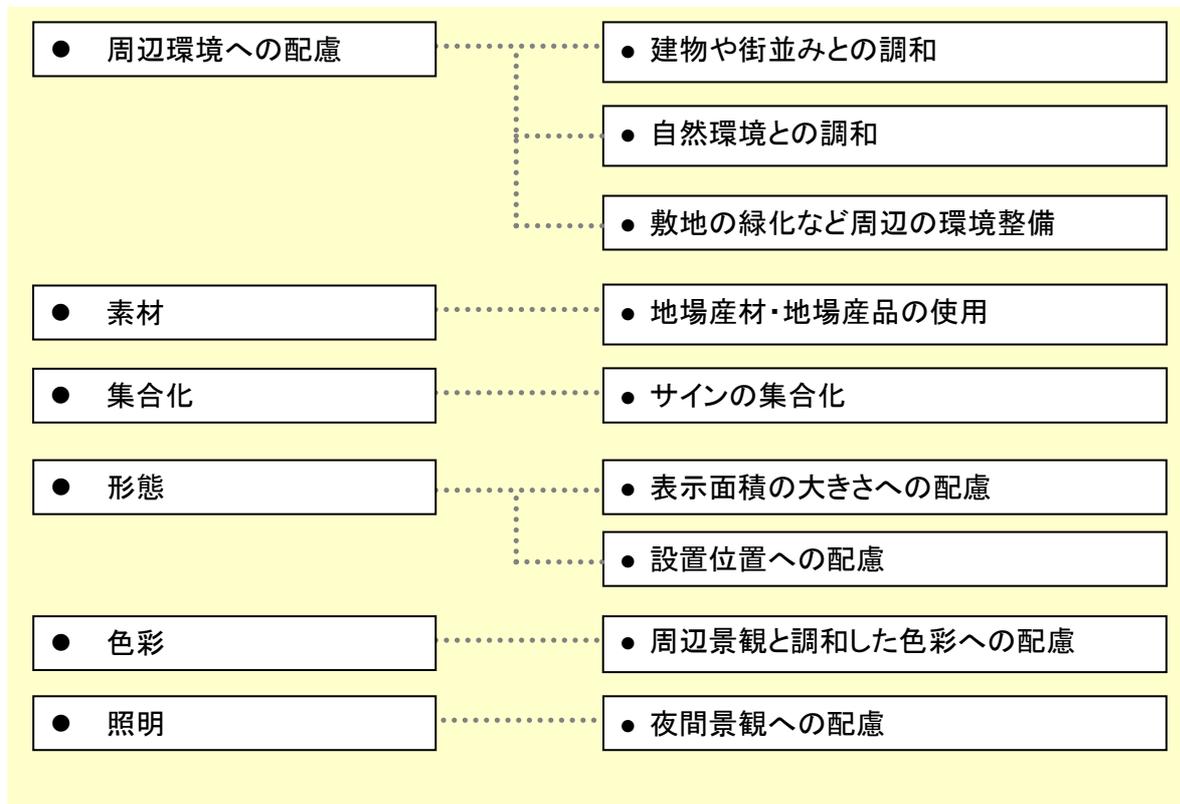
金沢市

【地場産材を使用した事例】



加賀市

《 特に配慮すべき指標 》



②良質なデザイン

屋外広告物は、日常的な景観を形成する要素となるため、原則として控えめな表現とすることが望まれます。

その上で、マークやロゴ、素材など様々な要素を吟味することにより、効果的な情報伝達が可能となり、魅力的な景観の創出だけでなく、地域の活性化にもつながります。

加えて、見やすさ、わかりやすさに配慮することで、より一層広告効果に優れたサイン表示が行えます。

【良質なデザイン事例】

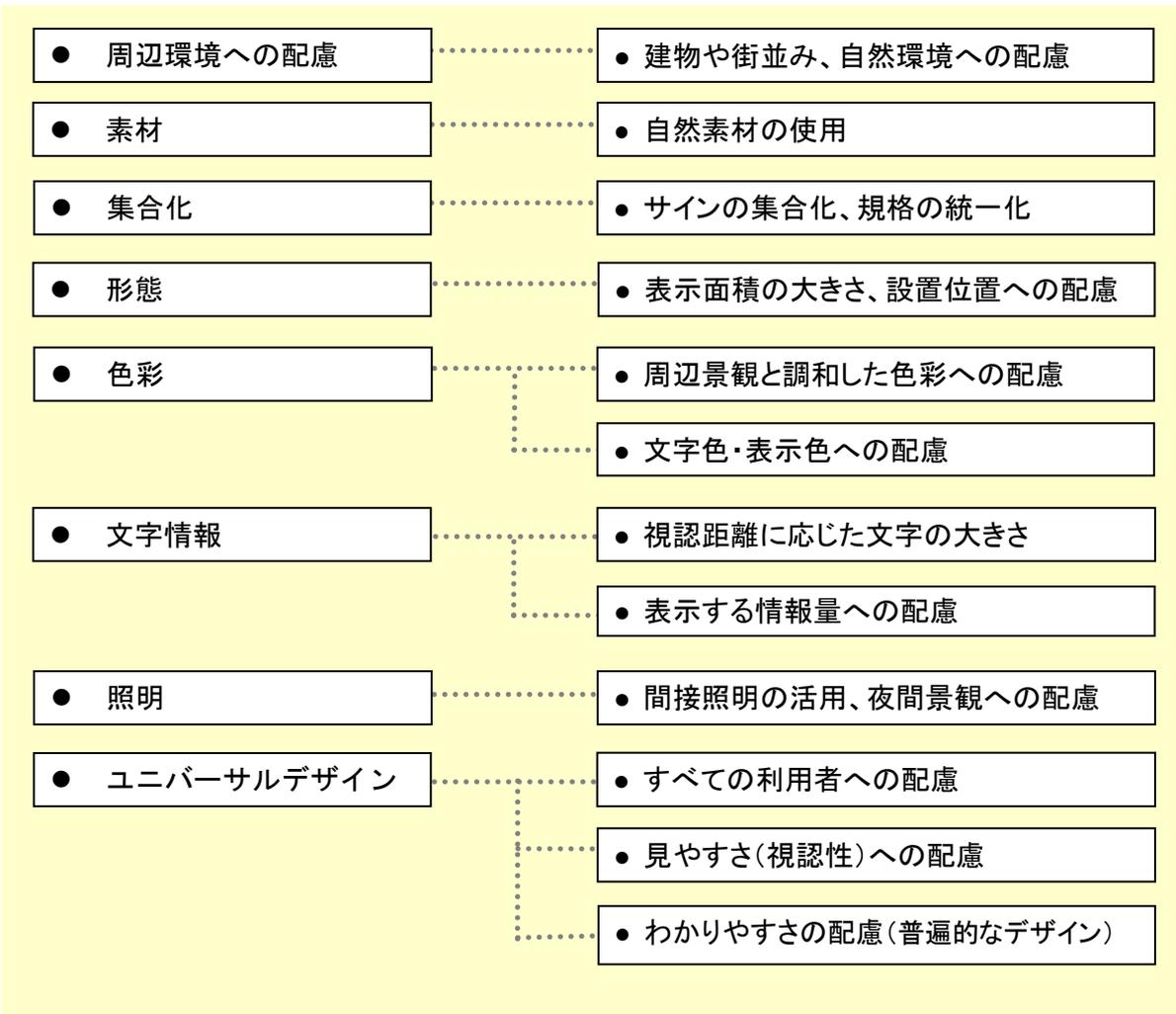


金沢市



大阪市

《 特に配慮すべき指標 》



③自然素材の活用

通常用いられることの多いプラスチックやフィルムシートなどを用いた看板は、安くて加工しやすい反面、過度な色彩、材質の違いによる建物との不調和が起こりやすいなどの欠点もあります。

自然素材の持つ風合いや質感などを活かすことで、地域景観との調和に寄与するとともに、景観のアクセントとして重要な役割を果たすことができます。

【自然素材の活用事例】

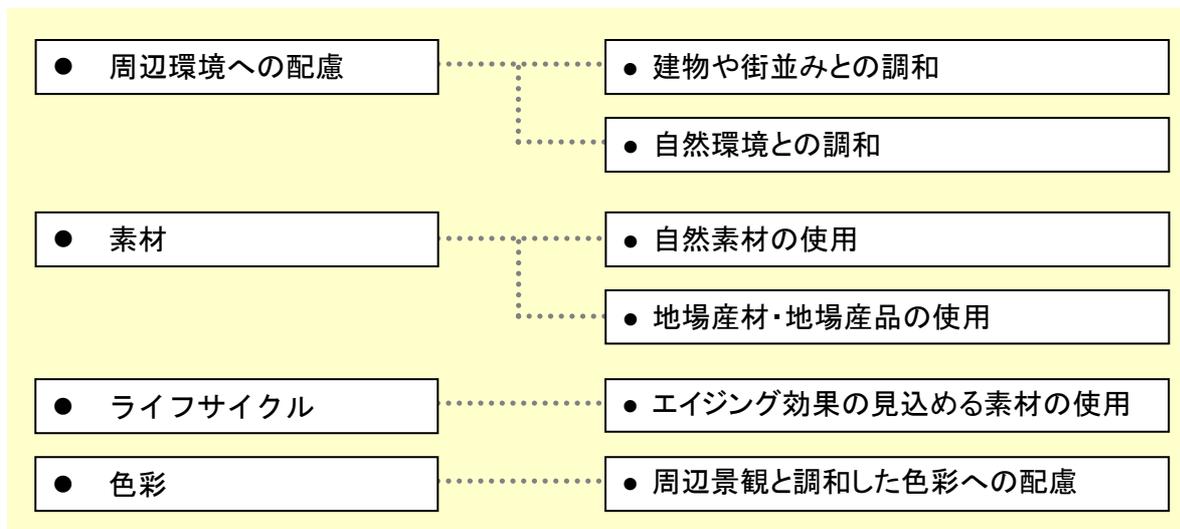


京都市



金沢市

《 特に配慮すべき指標 》



④看板の集合化

デザインや形状が様々な看板が無秩序に並んだ状態では、景観的に見苦しいだけでなく、広告効果が弱まることも考えられます。

看板を集合化し省スペース化を行うことで、すっきりとした表示により地域景観との調和が図られるだけでなく、省資源化にも寄与することができます。

【看板の集合化事例】

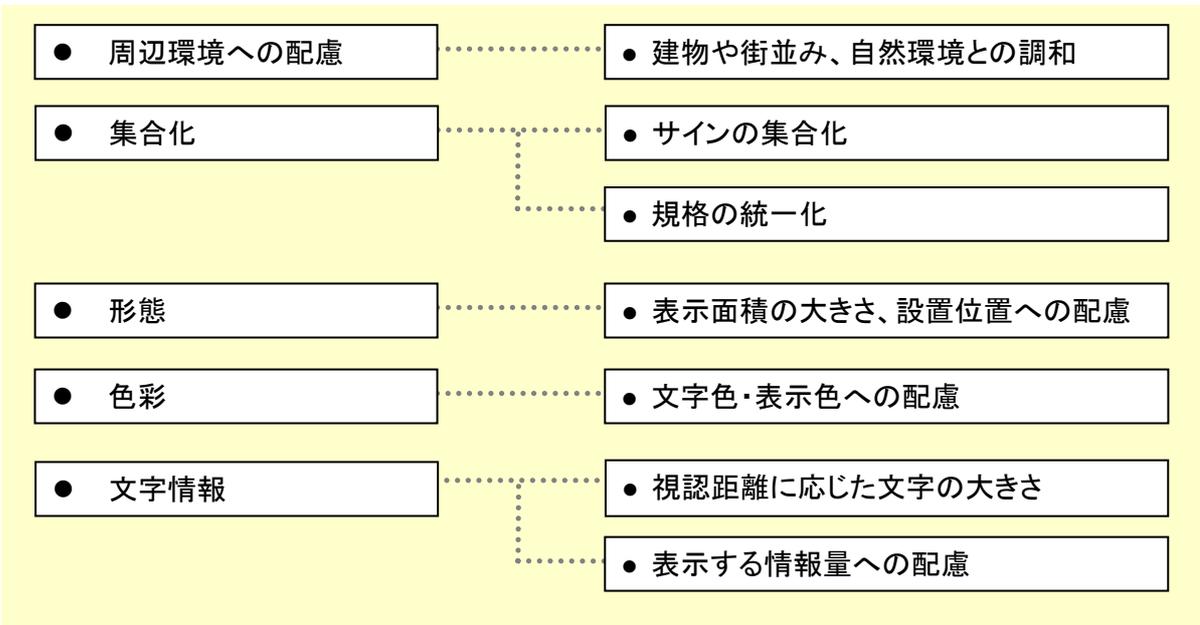


小松市



加賀市

《 特に配慮すべき指標 》



⑤ リサイクルへの配慮

持続可能な循環型社会の構築に当たっては、屋外広告物も例外ではありません。

再資源化や省資源化を進める上で、リサイクル製品や環境配慮型素材などを積極的に使用することが望まれます。また、リサイクル可能な素材を用いることや、情報の更新に対応した表示をすることも、リサイクルへの配慮につながります。

【環境配慮型素材を用いた事例】



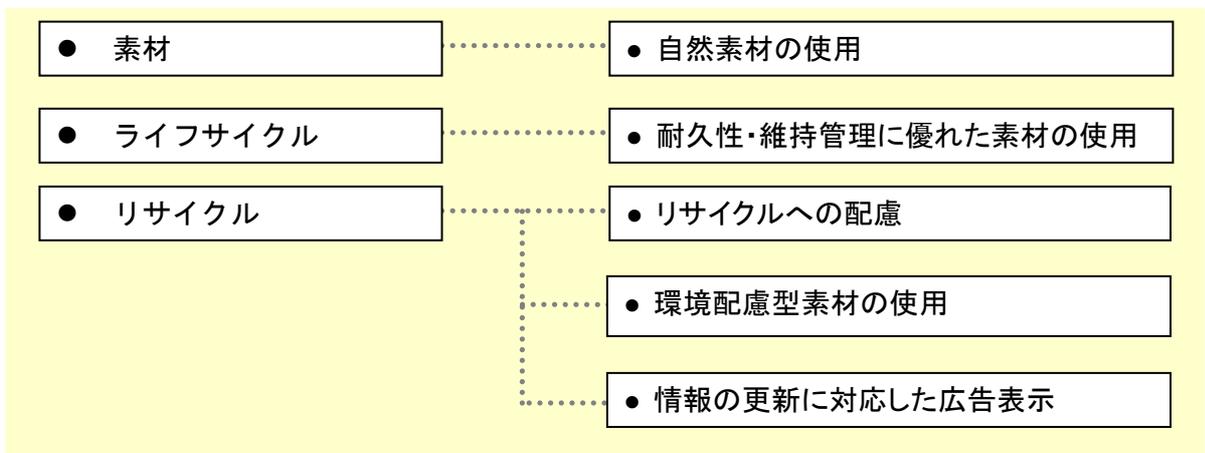
金沢市 (再生木の使用)

【リサイクル素材を用いた事例】



加賀市 (陶芸の「サヤ」を再利用した事例)

《 特に配慮すべき指標 》



2. エコサインの企画

エコサインの企画

①最もふさわしいエコサインのタイプ（類型）の検討

エコサインの導入を検討するときには、まず、掲出する場所の景観特性を把握し、前章で示した5つの類型を参考に、どのタイプが最もふさわしいかをイメージしましょう。

②それぞれの指標（配慮事項）を踏まえた企画

○トータルデザイン（総合的な完成度）への配慮

具体的にエコサインの企画を行うときには、デザインコンセプトを設定し、その上で素材や形状、色彩などの検討を行うことになります。

すなわち、どの類型のエコサインにおいても、総合的な完成度（トータルデザイン）に優れたものであることが不可欠です。

○10指標への配慮

その上で、素材やライフサイクルなど環境に関する指標、また色彩や文字情報といった景観形成に関する指標（配慮事項）を踏まえた検討が必要となります。

「環境指標」と「景観指標」はそれぞれ5つあり、あわせて10項目の指標への配慮が必要となります（ただし、5つの類型やサインの特色によって配慮すべき指標はそれぞれ異なります。また、必ずしも10指標のすべてを満たす必要はありません）。

③エコサイン導入の様々なメリット

これらの要素が取り入れられた屋外広告物のうち、特に優れていると認められるものはエコサインとして認定を受けることができ、許可基準の緩和や許可期間の延長などのインセンティブが付与されます。

また、エコサインの10指標を取り入れることは、単にエコサインとして認定されるだけでなく、以下のような効果が期待できます。

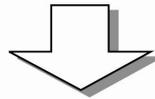
- 見やすくわかりやすいサイン表示により、広告効果を高めることにつながります。
- 環境や景観への配慮が企業イメージの向上につながります。
- 地場産材、地場産品の使用は、地域らしさの創出につながります。
- 環境に配慮した素材を用いることで、環境への負荷を低減できます。

このようなメリットも十分活かしながら、積極的にエコサインの導入を行いましょう。

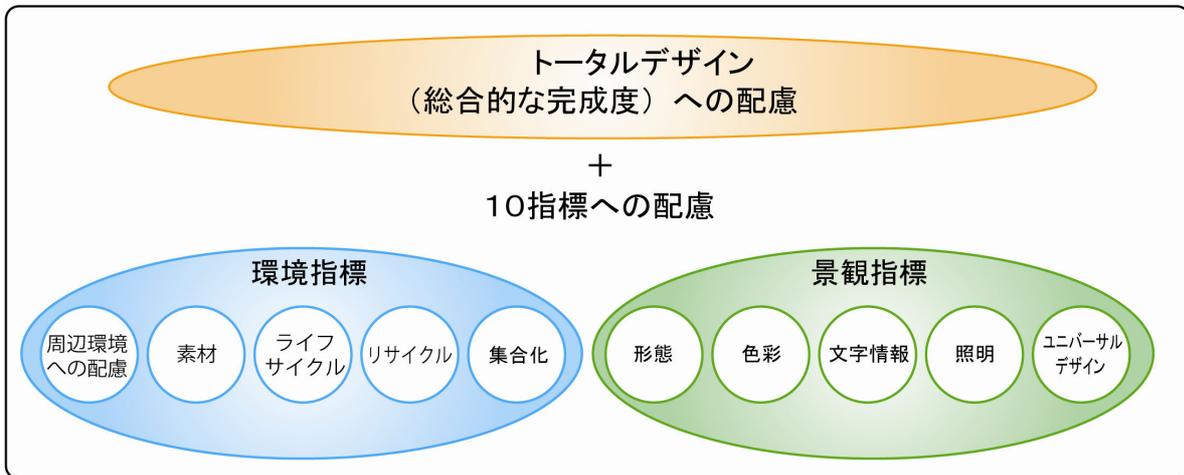
■ エコサインの企画検討フロー ■

STEP1 類型の検討

企画したいエコサインのタイプを、5つの類型を参考に検討



STEP2 それぞれの指標（配慮事項）を踏まえた企画



※ 5つの類型によって配慮すべき指標はそれぞれ異なります。(下表参照)



エコサインの認定

※認定の詳細は
P38 参照

5つの類型と、特に配慮すべき指標

	環境指標					景観指標				
	周辺環境への配慮	素材	ライフサイクル	リサイクル	集合化	形態	色彩	文字情報	照明	ユニバーサルデザイン
① 地域景観への配慮	○	○			○	○	○		○	
② 良質なデザイン	○	○			○	○	○	○	○	○
③ 自然素材の活用	○	○	○				○			
④ 看板の集合化	○				○	○	○	○		
⑤ リサイクルへの配慮		○	○	○						

トータルデザインへの配慮

石川県には、白山の山並みや日本海の海岸に代表される豊かな自然景観や、生活の営みが息づく里山や田園、落ち着いた風情を醸し出す街並みなどの文化的な景観が数多く存在します。

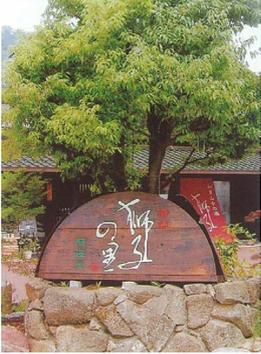
これらの優れた景観が、無秩序なサインによって阻害されることのないよう、掲出されるエコサインは、景観に、より一層魅力を増すものであるという社会的責任があります。

エコサインの企画に当たっては、単に類型や指標に沿ったものとするだけでなく、総合的な完成度（トータルデザイン）に優れたサインとして、地域の景観を代表するようなシンボルサインとなるよう心がけましょう。

■トータルデザインに優れたサインに求められる要素

<p>優れた デザインコンセプト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高い理念や広い視野に立ったデザインコンセプトに基づいた、完成度の高いサインデザインを心がけましょう。
<p>斬新で独創的な広告表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斬新で独創的な広告表現により、新たな魅力を感じられるようなデザインを心がけましょう。
<p>石川らしさを感じられる デザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産材や石川ゆかりの形態・モチーフをうまくアレンジして、石川らしさを感じられるデザイン、地域らしさを感じられるデザインを心がけましょう。

優れたデザインによるサイン事例（いしかわ広告景観賞受賞作品より）

デザインコンセプトに優れ、デザインの完成度が高い事例		
 <p>小松市</p>	 <p>小松市</p>	 <p>白山市</p>
<p>品の良さと洗練された形状が、小松市のイメージアップに寄与している。</p>	<p>文字の配置やデザインがスタイリッシュで工夫が見られる。建物との調和にも配慮。</p>	<p>日本の伝統色「濃藍」を使用した日除け幕と銅像のバランス、夜間景観への配慮が見られる。</p>
斬新で独創的な広告表現が見られる事例		
 <p>金沢市</p>	 <p>金沢市</p>	 <p>加賀市</p>
<p>桜の花びらを敷き詰めたデザインが優雅なイメージを想起させる。</p>	<p>白山の山並をかたどったデザイン、また奥行きを感じられるような工夫が施されている。</p>	<p>樽蓋の素材を活かす創意工夫、広告表現のアイデアが感じられるサイン。</p>
石川らしさを感じられる事例		
 <p>輪島市</p>	 <p>輪島市</p>	 <p>金沢市</p>
<p>伝統工芸である「漆」をモチーフとした色彩など、機能性・地域性をアピール。</p>	<p>能登の祭りを代表する「キリコ」と御陣乗太鼓のからくり時計を組み合わせている。</p>	<p>街並みとの調和を意図した木版に「金箔」を施し、店舗の特性をアピール。</p>

エコサインの10指標

環境指標 ①周辺環境への配慮

- サインの掲出に当たっては、掲出する建物や街並み、自然環境との調和に配慮した素材、色彩、デザインを用いましょう。
- サインの周辺を花や緑で緑化し、周辺環境の改善を図りましょう。

<p>建物や街並みとの調和</p> <p>伝統的な建物には、伝統的に用いられてきた素材や広告表現を用いましょう。</p> <p>また、古い街並みや商店街、ショッピングモールなど、街並み全体の景観形成に配慮したサインデザインを検討しましょう。</p>	<p style="text-align: center;">具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物と調和した色彩・素材 (例:柱、格子戸と同じ素材・色相の看板設置) ・伝統的な広告表現 (例:道標、のれん、提灯、あんどん) ・統一感のある街並みに調和した統一サイン
<p>自然環境との調和</p> <p>緑豊かな田園や里山、山麓などの自然環境が広がる空間では、素材や色彩などに配慮して、自然環境との調和に努めましょう。</p>	<p style="text-align: center;">具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の自然環境に調和した素材 ・周囲の自然環境に配慮した色彩
<p>敷地の緑化など周辺の環境整備</p> <p>周辺を花や緑で緑化することにより、空間に潤いややすらぎ、自然の持つ彩りが与えられます。</p> <p>また、設置するサインの印象も向上します。</p>	<p style="text-align: center;">具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地の入口などサイン周辺を生垣などで植栽 ・花壇やプランターによるサイン周辺の緑化 ・フェンスなどを用いたつる植物などによる緑化

参考事例

◆ 建物や街並みとの調和事例



伝統的な町家に調和した表示

金沢市



洋風の街並みに調和した表示

金沢市

◆ 自然環境との調和事例



山麓の自然環境にとけ込むように木材の風合いを残した表示

白山市



地色・文字色を低彩度にして周辺の建物や緑に調和するよう配慮

加賀市

◆ 敷地の緑化など周辺的环境整備事例



看板の周囲を緑化することにより景観を創出

野々市町



サイン周辺を緑化し、店舗のイメージを向上

白川村

環境指標 ②素材

- 自然素材の持つ風合いや質感などの特色を活かすことで、地域環境との調和に配慮するとともに、景観のアクセントとして重要な役割を果たします。
- 地場産材・地場産品を活用したサイン表示は、地域らしさの創出に大きく役立つとともに、地産地消の観点から、地域経済の活性化や流通コストの削減にも役立ちます。
- 素材を選定する際には、素材の持つ特色や長所を見極め、適材を適所に用いましょう。

<h3>自然素材の使用</h3>	具体例
<p>木材や石材など、自然素材の持つ風合いや質感などの特色を活かしたサイン表示は、地域景観や自然環境に調和するとともに、景観のアクセントとしての役割も果たします。</p> <p>また、自然素材は見た目にもやさしく快適な印象を与えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木材(銘木、無垢材、竹材など) ・ 石材(自然石、加工品含む)
<h3>地場産材・地場産品の使用</h3>	具体例
<p>かつて流通が盛んでなかった時代には、地場産材による建物や、地場石材による石積み、道標などが置かれ、それが地域らしい景観のもととなっています。</p> <p>地域らしさの創出を行う上でも、地産地消を進める上でも、地場産材、地場産品を活用しましょう。</p>	<p>【石川県の地場産材、地場産品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県産材(スギ、アテ、ヒノキなど) ・ 戸室石 ・ 滝ヶ原石 ・ 九谷焼 ・ 珠洲焼 ・ 珪藻土 ・ 金箔 など ・ 石川ブランド認定製品 (財)石川県産業創出支援機構)

参考事例

◆ 自然素材を用いた事例



一枚板の銘木を和菓子店の看板として使用
加賀市



戸室石の原石を橋梁の名称表示として使用
金沢市

◆ 地場産材・地場産品を用いた事例



山中漆器で用いる木材(地場産材)を使用
文字は漆(赤、黒)にて表記
加賀市



地場産の滝ヶ原石と、地場産業である九谷焼の陶板を使用
加賀市

◆ 人工素材であっても素材の自然な質感を活かすことで、優れた表現が可能です。



サイン部分拡大

腐食加工により落ち着いた
雰囲気を出す

東京都

環境指標 ③ライフサイクル

○サインは、基本的には長期間の設置を目的とするため、耐久性に優れ、維持管理が容易な素材を使用しましょう。

○年を経るごとに味わいが増すような素材を使用することで、より質の高いものとなるよう努めましょう。

<p>耐久性・維持管理に優れた素材の使用</p>	<p>具 体 例</p>
<p>サインは、長期間の設置を目的とするため、耐久性に優れた素材を用いることが基本です。</p> <p>また、汚れや痛みなどに対応するためにも、維持管理が容易な素材を用いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石材(御影石など) ・ 金属(アルミ、ステンレス、鋳造) ・ 陶板(セラミック) ・ ホーロー ・ ガラス(強化ガラス)
<p>エイジング効果の見込める素材の使用</p>	<p>具 体 例</p>
<p>長年にわたり使い続けてきたサインには、経年変化(エイジング)により色あせやさび、苔むしたものなども見受けられますが、大事に使われてきた看板や、石材を用いたサインなどはむしろ味わいが感じられるものもあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石材(色あせ、さび、苔むし) ・ 金属(色あせ、さび) ・ 木材(色あせ)

参考事例

◆ 耐久性・維持管理に優れた素材を用いた事例



長期間設置されるサインには、石材、金属(ステンレス)など耐久性のある素材の使用が有効

金沢市



地図や絵などを盛り込む場合はセラミックやホーローなどの使用が有効

広島市

◆ エイジング効果により味わいが感じられる事例



長年にわたり使用されている伝統的な広告

金沢市



苔むした様が味わいを深めている

金沢市

環境指標 ④リサイクル

- リサイクル製品やリサイクル可能な製品を活用することにより、サインの再資源化や省資源化を積極的行いましょう。
- 間伐材や再生木など、環境配慮型素材の使用も積極的行いましょう。
- 情報の更新が必要なサインについては、汎用性の高いサイン表示を行いましょう。

<p>リサイクルへの配慮</p>	<p>具 体 例</p>
<p>再資源化や省資源化を進めるため、リサイクル製品やリサイクル可能な製品を活用しましょう。</p> <p>また、他製品をサインに転用することも有効な手段です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル製品、リサイクルマーク認定製品 ・リサイクル可能な製品(アクリル、金属など) ・他製品の転用
<p>環境配慮型素材の使用</p>	<p>具 体 例</p>
<p>環境に配慮した素材や従来使用されていなかった素材を有効に活用して、省資源化に配慮しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材 ・再生木、集成材 ・エコ商品(エコセメント、グリーン購入法関連商品など) ・地球環境への配慮(ダイオキシンや環境ホルモンを排出しない素材)
<p>情報の更新に対応した 広告表示</p>	<p>具 体 例</p>
<p>広告表示の汎用性を高めることにより、表示内容・情報の更新への対応が迅速に行えます。</p> <p>可変表示に対応したメッセージボックスなどの設置が有効な手段です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント表示による盤面の更新 ・メッセージボックス(掲示板、黒板など)

参考事例

◆ リサイクルへの配慮事例



九谷焼の製造工程で古くから使われている「サヤ」を再利用

加賀市



廃プラスチックと廃木粉を原料とするリサイクル素材を活用

※カタログより引用

◆ 環境配慮型素材を用いた事例



再生木を使用

金沢市



間伐材を使用

※カタログより引用

◆ 情報の更新に対応した事例



テナント名の差し替えが可能

金沢市



複数の店舗情報を掲示する掲示板(黒板)

金沢市

環境指標 ⑤集合化

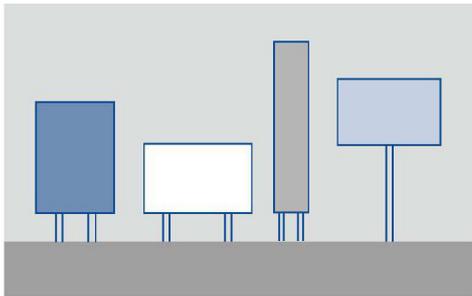
○サインを集合化し、すっきりとしたサイン表示を行うことで、省資源化や地域景観に配慮しましょう。

○地域ぐるみの統一的なイメージをサイン表示に導入することで、より一層の地域イメージの創出に努めましょう。

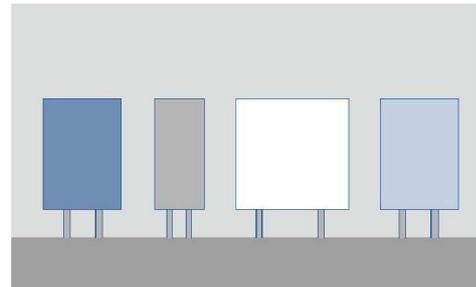
<h3>サインの集合化</h3>	具 体 例
<p>サインを集合化することにより、省スペースが図られ、すっきりとした表示が行えます。広告効果を高める効果も期待できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・案内誘導サインの集合化 (温泉街、商店街、観光地など) ・テナントビルの集合サイン (オフィスビル、商業ビルなど)
<h3>規格の統一化</h3>	具 体 例
<p>サインを1つに集合できない場合は、規格や設置場所を統一することで、すっきりとした表示が行えます。</p> <p>温泉街や観光地などでは、地域の統一的なイメージをサインでも表現することにより、効果的にイメージ向上を図ることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規格(サイズ)の統一化 ・設置場所の統一化 ・地域の統一的イメージの導入

参考事例

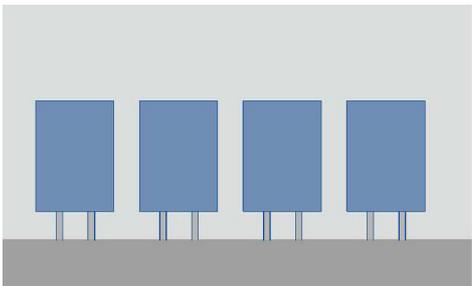
◆ サインの集合化イメージ



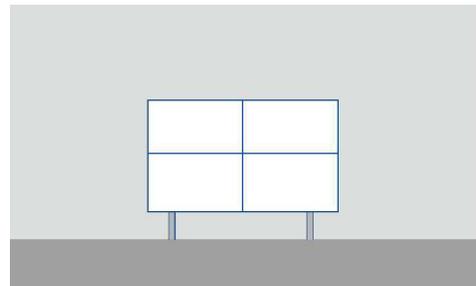
形態・意匠が不揃いな広告物



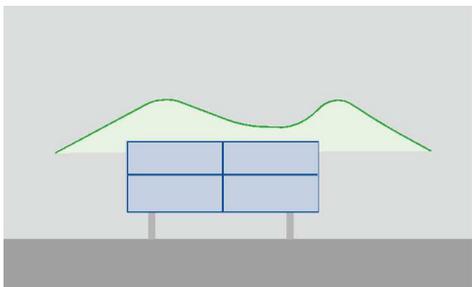
規格の統一化



意匠の統一化



サインの集合化



周辺景観への配慮

◆ 地域の統一的形象を表現した事例



歩行者向け誘導サイン



ドライバー向け誘導サイン

加賀市

温泉街のサイン計画を策定し、共通の地色、文字色、ロゴ等を用いて地域のイメージを創出

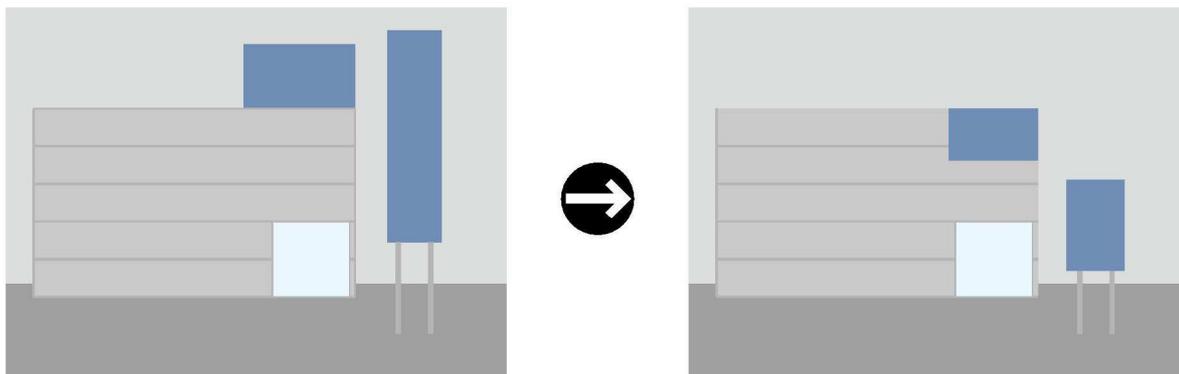
景観指標 ⑥形態

- サインは地域景観に与える影響が大きいため、自然環境への配慮や、景観との調和を考慮した大きさや配置に努めましょう。
- 透過性素材の使用や箱文字・切り文字の使用など、細かな工夫に努めましょう。

<p>表示面積の大きさへの配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>サインの設置は、地域景観に大きく影響を与えるため、景観との調和を考慮した大きさにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要最小限の表示面積 ・ 表示面積と表示内容のバランスへの配慮
<p>設置位置への配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>屋上広告や突出広告、自立広告などは、景観に大きな影響を与えるため、地域景観に配慮した設置に努めましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山並みのスカイラインや眺望景観を遮らない ・ 視界を遮らない ・ 自然・田園景観の中に設置しない ・ 交通信号等を妨げない
<p>見え方への配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>透過性の素材の使用により、圧迫感、遮蔽感が緩和され、地域景観への配慮が行えます。</p> <p>また、箱文字、切り文字を用いることで、洗練された印象を与える、すっきりとした表示が行えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盤面に透過性素材の使用 (ガラス・アクリルなど) ・ 箱文字、切り文字の使用

参考事例

◆ 表示面積の大きさに配慮した事例（イメージ）



過剰な大きさを避け、適切な規模とするとともに、設置位置を工夫して見やすさに配慮



金沢市

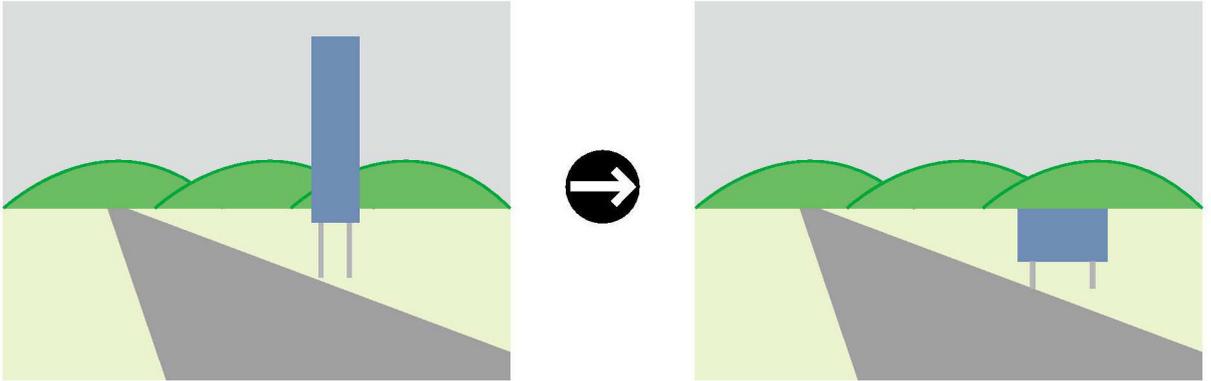


金沢市

表示面積と表示のバランスに配慮

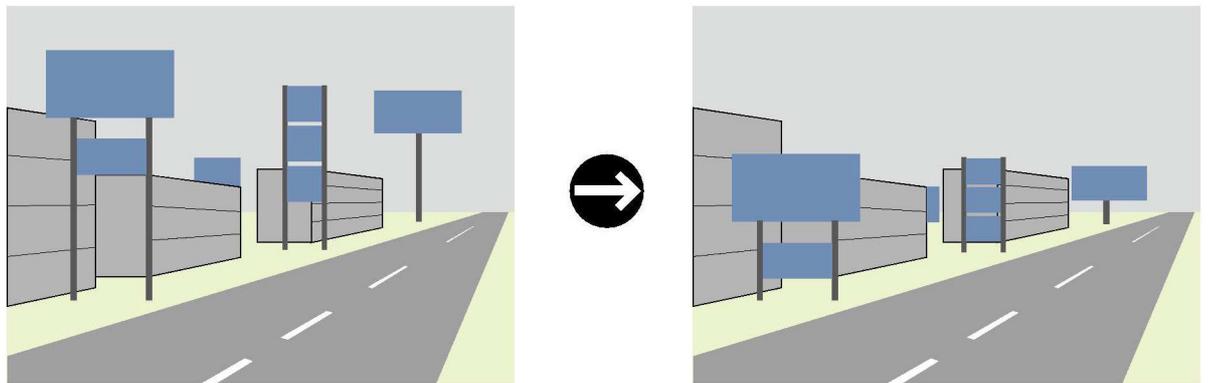
◆ 設置位置に配慮した事例（イメージ）

■ 山並みのスカイラインや眺望景観に配慮したイメージ



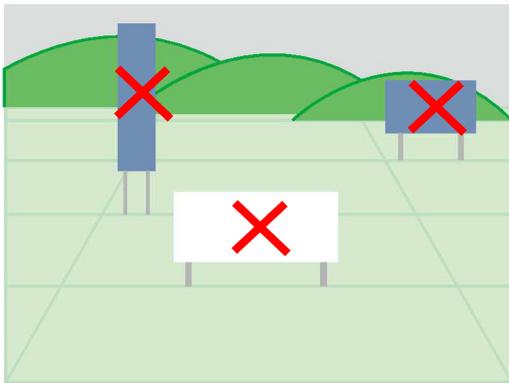
サインの高さを抑え、稜線を遮らない配慮

■ 街なかで広告物の高さに配慮したイメージ

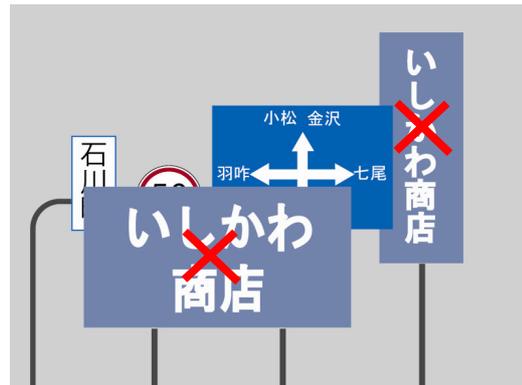


建物の高さに配慮した設置位置

■ 自然・田園の中への設置



■ 交通信号や道路標識を妨げるイメージ



◆ 見え方に配慮した事例



透過性素材の使用により周辺の
緑・街並みを引き立たせている

大阪市



大阪市

箱文字、切り文字により、建物の雰囲気
を活かしている

景観指標 ⑦色彩

○けばけばしく華やかな色彩のサインは、地域景観を阻害します。建物など周辺の景観と調和した色彩を用いましょう。

○文字色・表示色が多くなると、サインの視認性も低下しますので、文字色、表示色をできる限り少なくしてわかりやすい表示に努めましょう。

<p>周辺景観と調和した色彩への配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>けばけばしい色彩や華やかな色彩のサインは、地域景観の阻害要因となりますので、色相、明度、彩度のバランスをとり、地域景観の特性に応じた色表示を行いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺景観と調和した色相 ・ 地色と文字色の明度差のバランスへの配慮 ・ 地色は低彩度を原則とする ・ 素材の地色を活かした文字表記 ・ 和風の街並みでは伝統的な色彩を基調とする
<p>文字色・表示色への配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>文字色が多くなると視覚情報が煩雑になり、視認性が低下しますので、できる限り文字色・表示色を少なくして、わかりやすい表示に努めましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字色・表示色を少なくする ・ ベースとなる文字色以外は、アクセントカラー的に使用

参考事例

◆ 周辺景観と調和した色彩への配慮事例



地色と文字色を同系色にすることにより、洗練された印象を与えている

金沢市



伝統的な色彩を用いた看板

加賀市

◆ 文字色・表示色を少なくする配慮（イメージ、事例）

いしかわ商店

株式会社
いしかわ商店

株式会社
いしかわ商店
本社、○○支店、○○営業所



文字色が多くなるにつれて、盤面が煩雑な印象となり、わかりにくい表示となる

〔文字色が1色〕



建物の素材・色彩に合わせ、一層調和のとれた文字表記

加賀市

〔文字色が2~3色〕



ベースとなる文字色以外の色彩は、アクセントカラーとして使用

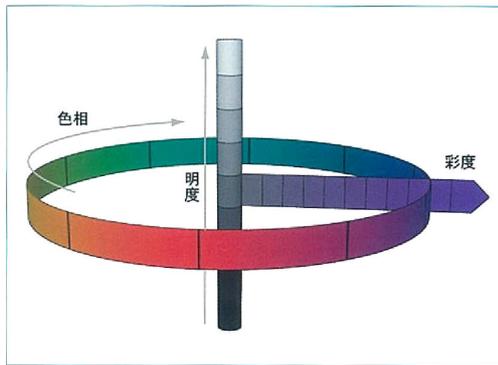
大野市

〔 色彩計画に関する基礎 〕

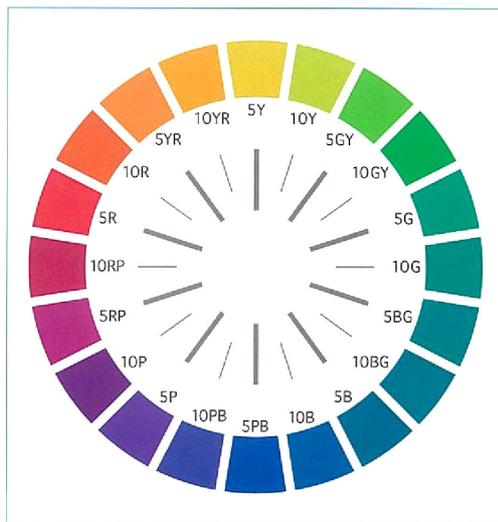
■マンセル表色系による色彩の数値化

色のものさしと呼ぶべき表色系の中で、もっとも標準的なものに「マンセル表色系」があります。

見え方には「色相」「明度」「彩度」による違いがあり、それらをうまく組み合わせることで、視認性に優れ、かつ周辺の景観に調和したサインの設置が行えます。



色相・明度・彩度



マンセル色相環

①色相

色相は赤や青というような色の系統のことです。

基本色相であるR（赤）Y（黄）G（緑）B（青）P（紫）の間に、中間色相のYR（黄赤）GY（黄緑）BG（青緑）PB（青紫）RP（赤紫）をとります。

これら 10 色相を円環状に並べたものがマンセル色相環です（左下図）。

②明度

明度は色の明るさのことです。

光を完全に吸収する理論上の黒が明度 0、光を完全に反射する理論上の白を 10 として、その間の明るさの段階を等間隔になるように分割しています。

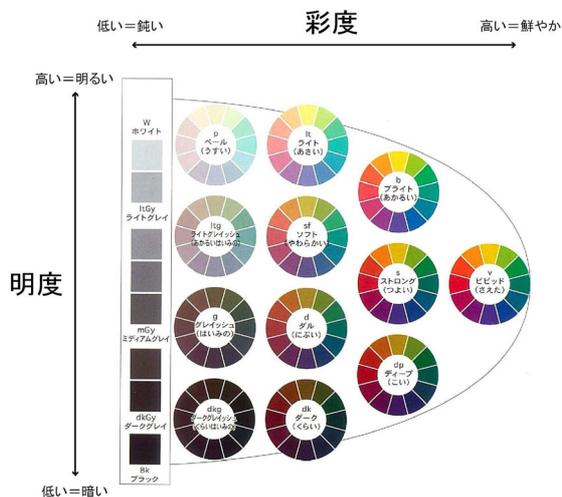
③彩度

彩度は色の鮮やかさを示しています。

無彩色を彩度 0 とし、色の鮮やかさが増加するにしたがって 1. 2. 3... と大きくなっていきます。

純色ほど彩度が高く、色が混ざり合うことによって彩度は低くなります。

■トーンの活用



トーン（明度と彩度の複合概念）による分類

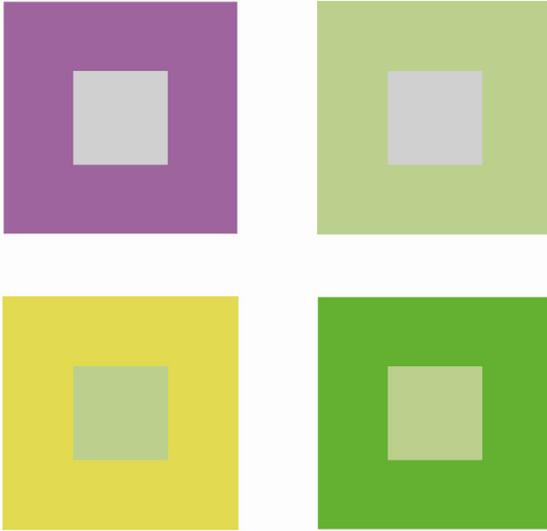
明度、彩度が近い色は、色相が異なっても調和のある色の組み合わせになり、これをトーンと呼びます。

表示内容、設置箇所などに応じて、トーンを活かした色彩に配慮しましょう。

出典：デジタル色彩マニュアル、
財団法人日本色彩研究所編

■色彩対比による見え方の例

①色相対比



同じ明るい灰色や薄い色等の図形色の場合、背景の色相が変わると見え方が変わります。

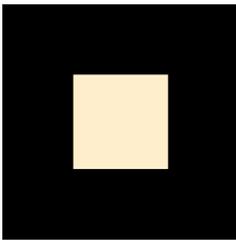
例の場合、図形色には背景の色相の補色に近い色が現われ、左右で異なった色が見えます。

図形色の黄緑は黄色を背景にすると緑みが強く見え、緑を背景にすると黄みが強く見える色相対比が働きます。

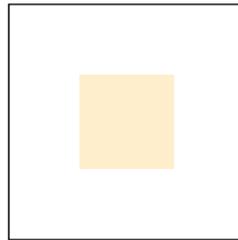
また、この例では、緑色を背景とする図形色のほうが明るく現れる明度対比も見ることができます。

②明度対比

明度比高



明度比低

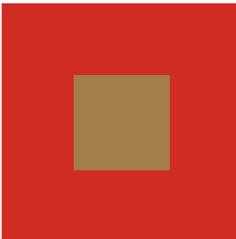


背景色が白・黒の場合や上記色相対比など明度差の伴う場合、図形色に明度対比の効果が働きます。

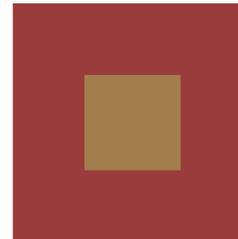
例の場合、同じ図形色の肌色は黒を背景色とした方が明るく見えます。

③彩度対比

高彩度



低彩度



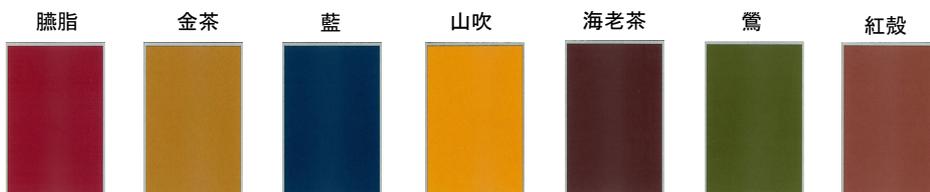
背景色の彩度が鮮やかなものと地味なものの場合、図形色に彩度対比の効果が働きます。

例の場合、同じ図形色の茶色は鮮やかな背景色のほうが地味に見え、地味な背景色では鮮やかな茶色に見えます。

出典：屋外広告の知識(第3次改訂版)
ぎょうせい

■伝統的な色彩（例）

和風のまちなみでは、伝統的な色彩の使用を推奨します。



景観指標 ⑧文字情報

- サインに記されている情報をわかりやすく相手に伝えるために、文字の大きさや文字数に配慮しましょう。
- 視認距離や判読できる情報量を考慮したサイン表示を心がけ、わかりやすいサイン表示を行いましょ。

<p>視認距離に応じた文字の大きさ</p>	<p style="text-align: center;">具 体 例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視認距離に応じた文字の大きさ ・ 視認距離に応じて文字の書体(フォント)の選択
<p>道路案内標識においては、判読できる文字の大きさに基準を設けて設置を行っています。</p> <p>これらの基準を一つの目安として、視認距離に応じた文字の大きさを考慮した表示を行いましょ。</p>	
<p>表示する情報量への配慮</p>	<p style="text-align: center;">具 体 例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字数はできるだけ少なくした、わかりやすいサイン表示 ・ 必要な情報量を厳選した、わかりやすいサイン表示
<p>人間が判読できる文字数、情報量には限度があります。</p> <p>文字数はできるだけ少なく、情報量を厳選して、わかりやすい表示に努めましょ。</p>	

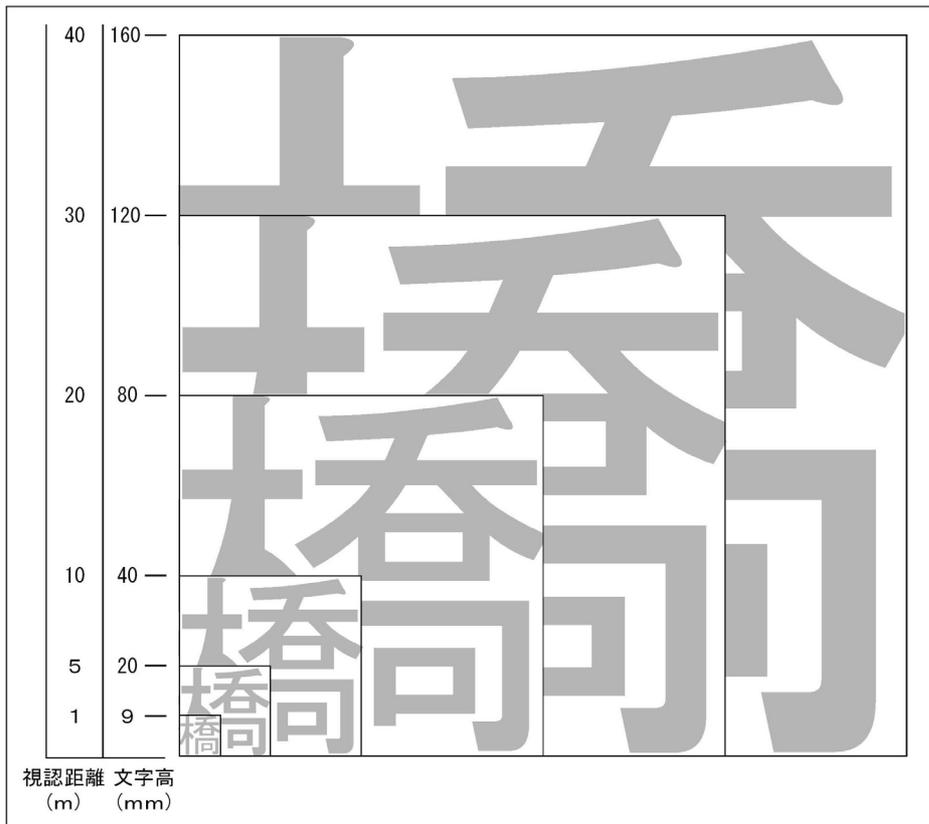
参考事例

◆ 視認距離に応じた文字の大きさについて

■ 視認距離と文字の大きさの目安

視認距離	図記号の基準寸法	和文文字高	英文文字高
40m の場合	480mm 角以上	160mm 以上	120mm 以上
30m の場合	360mm 角以上	120mm 以上	90mm 以上
20m の場合	240mm 角以上	80mm 以上	60mm 以上
10m の場合	120mm 角以上	40mm 以上	30mm 以上
5m の場合	60mm 角以上	20mm 以上	15mm 以上
1m の場合	35mm 角以上	9mm 以上	7mm 以上

出典：ひと目でわかるシンボルサイン
標準案内図記号ガイドブック、
交通エコロジー・モビリティ財団



■ 文字と記号を組み合わせた場合の視認距離の目安*3

【視認距離 20m の場合】



視認距離に合わせて、図記号と文字の大きさをレイアウトした例

出典：ひと目でわかるシンボルサイン
標準案内図記号ガイドブック、
交通エコロジー・モビリティ財団

■文字の書体（フォント）による見やすさ

ゴシック体

いしかわエコサイン

明朝体

いしかわエコサイン

丸ゴシック

いしかわエコサイン

正楷書体

いしかわエコサイン

隷書体

いしかわエコサイン

新宋体

いしかわエコサイン

屋外広告物の書体を選ぶには、次の3点に留意する必要がある

- (1) 伝える内容にふさわしいイメージの書体
- (2) 判読性の高い書体
- (3) 美しい書体

■文字の大きさと太さ

石川県の屋外広告物

欧文に比べ画数の多い漢字を遠方から読ませるためには、文字の大きさと共に太さに配慮する必要がある

■文字の間隔

いしかわエコサイン

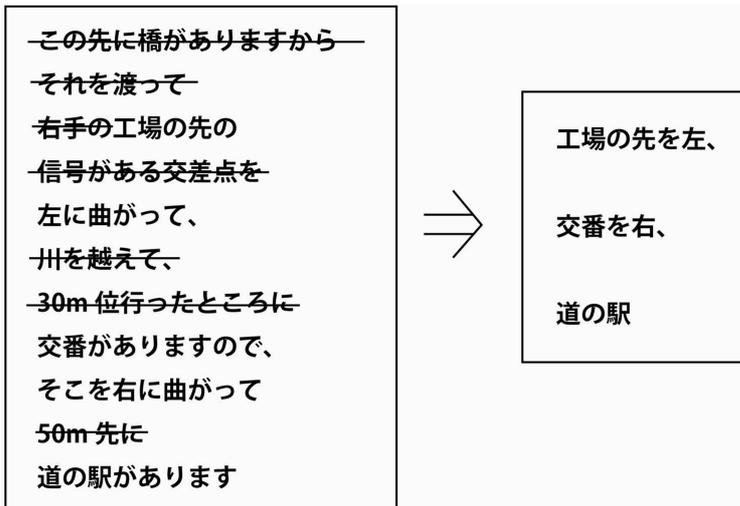
いしかわエコサイン

いしかわエコサイン

広告の場合は、単語や短い文章が多いので、文字間隔はきめ細かい調整が必要

◆ 適正な文字数・情報量について

■ 覚えられる情報量（例示）



人が道を聞いて簡単に覚えられる量は3項目までといわれている

出典：屋外広告の知識(第3次改訂版)
ぎょうせい



輪島市

わかりやすい表示事例

景観指標 ⑨照明

- サインは夜間景観においても重要な役割を果たしますので、間接照明などを用い、夜間景観を演出しましょう。
- 街並みの演出には、ライトアップによる夜間景観の創出も有効な手段となりますが、過度なものとならないよう配慮しましょう。

<h3>間接照明の活用</h3>	具体例
<p>直接発光する照明に頼るのではなく、壁面を照らす間接照明を活用しましょう。</p> <p>照明の光源についても、暖かい印象を与える電球色を用いるなどの配慮を行いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間接照明の活用 ・部分照明の活用
<h3>夜間景観への配慮</h3>	具体例
<p>軒下の照明やショーウィンドーなどの明かりを活用してサインを照らすのも一つの方法です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軒下や玄関の明かりをサインの照明に活用 ・ショーウィンドーの明かりをサインの照明に活用

※ サインの照明や電光表示装置などは、夜間の景観に対し大きな影響を与えます。ネオンサインや電光表示装置を使用する場合には、地域景観への配慮に努め、点滅の速度や表示の切り替えはできる限り穏やかにしましょう。

参考事例

◆ 間接照明の活用事例

■ 通常の夜間照明（直接照明）



東京都

■ 間接照明による演出事例



加賀市

■ 背面からの間接照明と部分照明による演出事例



金沢市

◆ 夜間景観の演出事例



建物及び門柱全体をライトアップした事例

金沢市



金沢市



拡大表示

商店街の照明と
間接照明の併用事例

景観指標 ⑩ユニバーサルデザイン

- 健常者はもとより、お年寄りや子ども、身体にハンディキャップのある人などにも、わけへだてなく利用してもらえるよう、サインのユニバーサルデザインを心がけましょう。
- 見やすさ（視認性）や、わかりやすさについても、十分に配慮しましょう。

<p>すべての利用者への配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>高齢者や年少者、視覚障害者など、あらゆる人に見やすくわかりやすい表示を心がけましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声システムの採用 ・点字、触地図表示 ・カラーユニバーサルデザインによるサイン表示 (どのような色覚の人にもなるべく見分けやすい配色とすること。特に公共性の高い場所(病院・駅など)については配慮が必要)
<p>見やすさ（視認性）への配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>サインを遠くから視認する場合と、近くから視認する場合では、距離に応じて見やすい角度が異なりますので、視認する場所に応じた設置位置を考慮しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視認距離に応じたサインの設置位置(角度) ・健常者と車椅子使用者双方の視点に配慮した掲出位置
<p>わかりやすさへの配慮</p>	<p>具体例</p>
<p>サインの表示方法については、文字情報だけでなく、ピクトグラムなど普遍的なデザインを用いてわかりやすく図化するのも一つの方法です。</p> <p>また、多くの人が入り出る場所については、外国語併記などにも配慮しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムによる表示 ・マーク・ロゴによる表示 ・普遍的なデザインや造形的な工夫 (時代を経てもなおわかりやすく親しまれるデザイン) ・多言語表記(英語、中国語、韓国語など)

参考事例

◆ すべての利用者への配慮が行われている事例



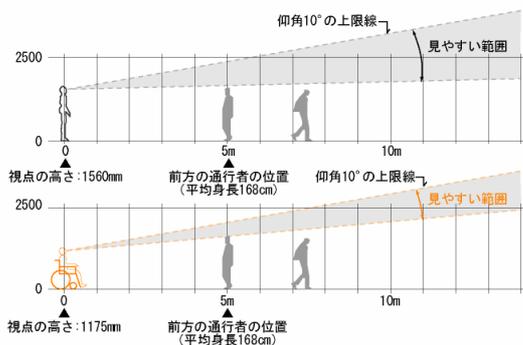
音声システムを採用 ※カタログより引用



カラーユニバーサルデザインの導入事例
緑の識別が困難な人向けに「緑」の文字を追加
札幌市交通局 HP

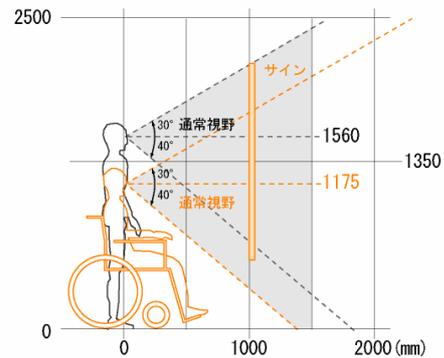
◆ 見やすさに配慮する際の基準

■ 遠くから視認するサインの見え方



視認位置から仰角 10 度より下の範囲で、できる限り高い位置とする *1

■ 近くから視認するサインの見え方



立位の人と車いす使用者の視点の中間となる、床から 1350mm 程度の高さとする *1

*1 ひと目でわかるシンボルサイン 標準案内図記号ガイドブック
交通エコロジー・モビリティ財団

◆ わかりやすさに配慮した事例



喫茶店のサイン事例
店の内容を図で示している

金沢市



ピクトグラムや多言語表記による表示

能登空港

3. エコサインの認定

エコサインの認定を受けるには

エコサインの認定を受けるときは、認定申請書を提出し、県の審査を受ける必要があります。

認定に当たっては、チェックリストを用いた客観的審査を行った上で、デザインなど総合的な審査を行う審査会の意見を踏まえ、認定を行います。

①エコサインの企画（申請者）

○ガイドラインに基づいた企画

ガイドラインに示された指標などを踏まえて、エコサインを企画します。

企画に際しては、周辺景観の把握やサインの対象設定を行い、これにふさわしいデザインを検討します。

周辺景観把握

- ・まちなみ景観
- ・田園景観
- ・自然景観
- ※屋外広告物の地域指定
- ※いしかわ景観総合計画で定める地域（景観形成重要エリアなど）

エコサインのタイプの検討

- ・5つの類型

ガイドラインの適合

- ・トータルデザイン
- ・指標への適合

○評価指標との照合

評価指標の自己チェック及び配慮事項の申告（チェックリスト）、イメージ図、デザインコンセプトの提案等を取りまとめ、認定申請書を作成します。

②審査

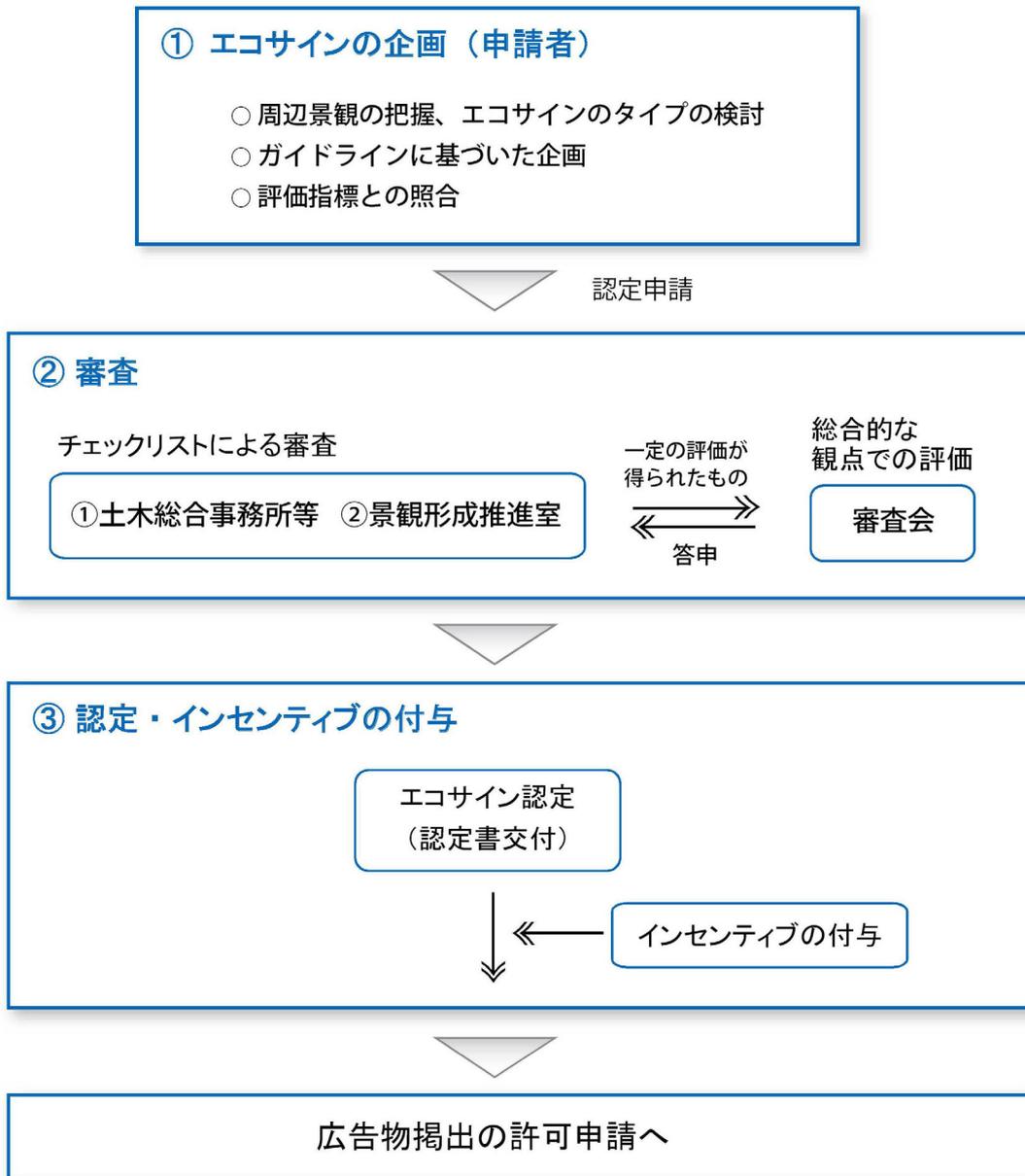
- 所管の土木総合事務所又は土木事務所（以下「土木総合事務所等」）にエコサイン認定の申請を行います。土木総合事務所等及び景観形成推進室では、ガイドラインに基づき審査を行います。
- 審査に当たっては、チェックリストに加え、イメージ図（景観シミュレーション）や申請者による提案（トータルデザインの考え方など）を踏まえて評価します。
- 上記の審査で一定の評価が得られたものは、審査会に諮り総合的な観点から審査を行います。



③認定、インセンティブの付与

- 審査の結果エコサインとして認められるものについては、土木総合事務所等がエコサイン認定書を交付します。
- エコサインとして認定された場合は、許可基準の緩和など一定のインセンティブの付与を受けられるほか、優良な広告物として県ホームページ等により広報されます。

■ エコサイン認定フロー ■



■ 申請時に必要な書類（申請者） ■

- ① 認定申請書
申請者による提案
 - ・ トータルデザイン
 - （優れたデザインコンセプト
 - 斬新で独創的な広告表現
 - 石川らしさを感じられるデザイン）
 - ・ 環境配慮事項
 - ・ 景観配慮事項
- ② イメージ図（景観シミュレーション等）
- ③ チェックリスト（申請者による自己チェック）
 - ・ 環境指標
 - ・ 景観指標

導入にかかる規制緩和など

①規制緩和

エコサインの認定を受けた広告物については、許可基準や許可期間の規制を緩和することにより、積極的な掲出を推奨します。

○許可基準の緩和

エコサインの認定を受けた広告物は、許可基準が下記のとおり緩和されます。

禁止地域における広告物の色彩制限の緩和

【第1種・第2種禁止地域】

案内誘導広告物 2色以内

色相 Y, YR でマンセル値の彩度 10 以下
それ以外の色相でマンセル値の彩度 8 以下

→ 適用しない

禁止地域における案内誘導広告物の設置個数の緩和

【第1種禁止地域】 原則 1 箇所以内 → 原則 2 箇所以内

【第2種禁止地域】 原則 2 箇所以内 → 原則 3 箇所以内

禁止地域における案内誘導広告物の表示面積（表示面 1 面当たり）の緩和

【第1種禁止地域】 1. 5 m²以内 → 5. 0 m²以内

【第2種禁止地域】 3. 0 m²以内 → 5. 0 m²以内

○許可期間の延長

エコサインの認定を受けた広告物は、通常の 2 倍まで許可期間が延長されます。

広告物の許可期間の延長

例) 【耐久性のある広告板・広告塔】 3 年以内 → 6 年以内

②広報

エコサインの認定を受けた広告物は、県ホームページ等で紹介し、エコサインの普及を図ります。

③助成制度

地域によっては、既存の広告物をエコサインに変更する場合などに、費用の一部の助成を受けられる場合があります。

いしかわエコサイン認定申請書

年 月 日

石川県知事 様

次の広告物について、優良広告物の認定を受けたいので、いしかわ景観総合条例第56条第1項の規定により申請します。

申請者	フリガナ 氏名	①
住所等	〒	TEL : FAX :
広告物の概要	規制の地域	<input type="checkbox"/> 許可地域 <input type="checkbox"/> 第1種禁止地域 <input type="checkbox"/> 第2種禁止地域 <input type="checkbox"/> 特別禁止地域
	種類	<input type="checkbox"/> 広告板 <input type="checkbox"/> 広告塔 <input type="checkbox"/> その他 ()
	形態	<input type="checkbox"/> 壁面広告 <input type="checkbox"/> 突出広告 <input type="checkbox"/> 自立広告 <input type="checkbox"/> その他 ()
	細別	<input type="checkbox"/> 自家用 <input type="checkbox"/> 案内誘導用 <input type="checkbox"/> その他 ()
	面積	表示面積 m ² (縦 m × 横 m × 面)
	文字表記	<input type="checkbox"/> 主に日本語表記 文字数 <input type="checkbox"/> 主にローマ字表記 文字数
	照明	<input type="checkbox"/> 自光式 <input type="checkbox"/> 間接照明 <input type="checkbox"/> 照明なし
	対象	<input type="checkbox"/> 主にドライバー <input type="checkbox"/> 主に歩行者 <input type="checkbox"/> その他 ()
設置予定場所	(様式-2にて位置図を掲載のこと)	

提案事項	<p>トータルデザインへの配慮</p> <p>〔 ・デザインコンセプト ・斬新で独創的な広告表現 ・石川らしさを感じられるデザイン 〕</p>	
	<p>環境への配慮</p>	
	<p>景観への配慮</p>	

*記入欄が不足する場合は別紙に記載すること（書式自由）

<p>広告物等の イメージ図 (写真、CG 等に よる景観シミュレーション)</p>	
<p>設置予定 場所 見取図</p>	

※イメージ図は、広告物の意匠や、広告物が周辺に与える影響がわかるものとし、欄が不足する場合や欄が小さい場合は、別紙にて記載すること。
※その他、広告物の意匠や仕様が分かる書類を必要に応じて添付すること。

■いしかわエコサイン認定チェックリスト

項目	指標	記入欄				
		申請者	土木総合事務所等		景観形成推進室	
		○印	採点	配点	採点	配点
トータルデザインへの配慮	デザインコンセプトに優れ、デザインの完成度が高い			5		10
	斬新で独創的な広告表現がなされている			5		10
	石川らしさを感じられる			5		10
環境指標	①周辺環境への配慮	建築や街並みと調和したデザインである		2		3
		自然環境と調和したデザインである		2		
		周辺の緑化等環境整備がなされている		1		
	②素材	自然素材を用いている		2		2
		地場産材、地場産品を用いている		1		
	③ライフサイクル	耐久性に優れており、維持管理が容易である		1		1
		エイジング効果の見込める素材を用いている		1		
	④リサイクル	リサイクルに配慮している		2		2
		環境配慮型素材を用いている		1		
		情報の更新に対応した広告表示となっている		1		
⑤集合化	サインの集合化が図られている		2		2	
	規格の統一化が図られている		1			
景観指標	⑥形態	表示面積の大きさに配慮している		2		3
		景観に配慮した設置位置となっている		1		
		透過性素材の使用など見え方に配慮している		2		
	⑦色彩	周辺景観と調和した色彩を用いている		2		2
		文字色・表示色に配慮している		2		
	⑧文字情報	視認距離に応じた文字の大きさに配慮している		2		2
		表示する情報量に配慮している		1		
	⑨照明	間接照明を用いている		1		1
		夜間景観に配慮している		1		
	⑩ユニバーサルデザイン	高齢者・年少者・視覚障害者などすべての利用者に配慮している		2		2
見やすさ（視認性）に配慮している			1			
わかりやすさに配慮している			1			
採点				50点		50点
			合計		点	

※エコサインの10の指標を確認のうえ記入すること。

- ・申請者は、エコサインの企画にあたって特に配慮した事項に○印を付けること。
- ・土木総合事務所等及び景観形成推進室は、全ての指標について採点を行い、申請者が特に配慮した事項については、聴取を行うなど、設計意図の十分な把握に努めること。

屋外広告物担当窓口

(平成21年1月1日現在)

事務所名	担当課・係	所在地	電話番号	所管区域
南加賀土木総合事務所	維持管理課 管理係	〒923-0811 小松市白江町リ61-1	0761 21-3330	小松市、能美市、川北町
大聖寺土木事務所	維持管理課 管理係	〒922-0831 加賀市幸町2丁目77	0761 72-0491	加賀市
石川土木総合事務所	維持管理課 管理係	〒920-2113 白山市八幡町イ20	076 272-1190	白山市、野々市町
県央土木総合事務所	維持管理課 道路管理係	〒921-8042 金沢市泉本町6丁目34	076 241-8203	※
津幡土木事務所	維持管理課 管理係	〒929-0325 河北郡津幡町字加賀爪又111-1	076 289-4161	かほく市、津幡町、内灘町
中能登土木総合事務所	維持管理課 管理係	〒926-8586 七尾市本府中町ソ27番9	0767 52-5102	七尾市、中能登町
羽咋土木事務所	維持管理課 管理係	〒925-0026 羽咋市石野町へ31	0767 22-1225	羽咋市、宝達志水町、 志賀町
奥能登土木総合事務所(分室)	維持管理課 道路管理係	〒929-2392 輪島市三井町洲衛10部11番1 (奥能登土木行政センター3階)	0768 26-2350	輪島市、穴水町、能登町
珠洲土木事務所	維持管理課 管理係	〒927-1213 珠洲市野々江町シの部32番地	0768 82-2165	珠洲市
土木部 景観形成推進室		〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地	076 225-1759	エコサイン制度全般

※金沢市の区域では市条例に基づく規制を行うため、エコサイン認定は受けられません。

エコサインの認定については、お近くの土木総合事務所等または景観形成推進室にお問い合わせください。

様式等は、下記ホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/toshi/top.index.htm>



石川県土木部景観形成推進室

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL076-225-1759

<http://www.pref.ishikawa.jp/toshi/top.index.htm>